

開催に向けた感染拡大予防ガイドライン

東京都ソフトボール協会

準拠 スポーツ庁
(公財) 日本ソフトボール協会

ガイドラインにおける大前提

新型コロナウイルス感染症防止対策

国・自治体の基本方針を遵守



組織の機関

(公財) 日本ソフトボール協会 大学連・高体連・中体連



所属機関・入場制限、施設の管理運営

※ 大会ができない場合もある

競技団体・大会運営

ガイドラインの作成と遵守



加盟団体（連盟・協会）・大会運営

ガイドラインの作成と遵守

1 新型コロナウイルス感染症防止対策

原則：3つの密を避ける

◎ 密閉 可能性は低い

○ 屋外 密閉空間ではない
(要注意)

◎ 密集 対策が必要



感染の

リスクが高いもの (嚴重注意)

◎ 密接 対策が必要

- ✖ 密接場面がある (飛沫感染)
- ✖ 密集場面がある (接触感染)
- ✖ 用具の共有 (接触感染)
- ✖ ベンチ内 (密集・密接)
- ✖ ミーティング (密集・密接)
- ✖ 移動時 (密集・密接)

2 感染予防・感染拡大防止の原則

人と人との接触 (飛沫感染)

咳・痰・鼻水・くしゃみ

を 最大限なくしていく

人と物との接触 (接触感染)

感染防止の3つの基本

- 十分な距離の確保
- マスクの着用
- 手洗い・手指の消毒

生活でも

- ☆ こまめに手や顔を洗い、手指の消毒も
- ☆ 手で目・鼻・口を触らない

3 大会に関わる全ての者の【健康チェック】

(役員・選手・スタッフ等)

【大会直前2週間前からの行動制限および健康管理】

☆ 大会直前2週間前（一般的な潜伏期間）から当日までの健康管理と記録
健康チェックシート（提出） ➡ 当日受付にて（参加者の可否の判断）

- ・ 大会参加者（チームはベンチ入りするメンバー全員）
- ・ 参加者本人および生活を共にする方の感染予防対策の徹底
- ・ 不要不急の外出は避ける（三密を避ける）

参加者の制限

- ・ 本人および同居家族に一人でもコロナウイルス感染者が発生した場合
- ・ 健康チェック期間中に本人が37.5℃以上の発熱および体調不良症状があった場合
- ・ チェックシートに未記載がある場合
- ・ 主催・主管者側の感染拡大防止にご賛同・ご協力いただけない場合

大会への参加を控える

4 会場施設の衛生管理および安全管理

- ・ マスクの持参と着用（予備のマスクを）
- ・ 検温器の準備（受付に設置）
- ・ 消毒液の設置（ポンプ式・スプレー式）
受付・本部・試合会場入り口・ベンチ・トイレ
- ・ 共用箇所の清掃と消毒
トイレ・手洗い場・ベンチ（ダッグアウト）・本部テント内等
- ・ 共用用具の消毒（ラインカー・メジャー・レーキ・ボール等）
- ・ 必要のない物の撤去（用具・備品・ゴミ箱等）
- ・ 社会的距離2m（最低1mのスペースの確保）
- ・ 人の活動エリア・動線の確保（指定および制限）
- ・ 人数制限および使用制限（試合会場・練習会場・休憩場所等）

- ・ 自動販売機の利用制限（飲料は各自持参）

5 運営側の衛生管理および安全管理

- ・ マスク着用の義務化（熱中症対策のため、こまめに水分補給を）
- ・ マスクを外す場合は、人との距離を必ず2 m以上確保する
- ・ マスク着用時も、人との接触1 m以内は避け、直接肌が触れる行為は厳禁と
- ・ マスク着用にて会話をする場合も大声で話さない
- ・ 他人と物品の共用はしない（湯茶接待、筆記用具等）
- ・ 常に身の回りの物をこまめに消毒する（テーブル・椅子・使用物等）
- ・ 受付担当者マスク・フェイスシールド・手袋（使い捨て用）の3点を用意しておく
- ・ 湯茶の接待は行わず、飲み物は事前に購入し準備しておく（要消毒）
- ・ 咳や痰を吐かない。鼻や口で使ったティッシュペーパーやゴミは各自持ち帰る

6 選手・スタッフの衛生管理および安全管理

☆ マスク

- ・ マスクの持参と着用
- ・ プレイ中以外はマスクを着用（ベンチ内・会話・グラウンド整備時等）
- ・ ソーシャルディスタンスの理解と徹底

☆ 自己管理

- ・ 徹底した感染予防対策と健康管理（毎日の検温と記録）
- ・ 37.5℃以上の発熱、体調不良や異変を感じたら、大会に参加しない

☆ ソーシャルディスタンス（社会的距離2 m） ➡ プレイ中は最低1 m以上

- ・ 人にむやみに近づかない、人が近づいてきたら自ら離れる
- ・ 自主自律の確立（自分のことは自分です） ➡ 他者による物の受け渡しをしない
- ・ 握手・ハイタッチ・ハグ等、他者との接触を避ける
- ・ 野手はプレイ以外ではピッチャーサークル以内に入らない
- ・ 用具の個人使用（グラブ・バット・ヘルメット等 自分の物を使用） ➡ 共用しない
- ・ 共用用具 使用前後における、徹底したアルコール消毒の励行

- ・ プレイ中の会話は、最低1 m以上の距離を確保し、手・グラブ・帽子・ヘルメット等で口を覆う
- ・ 咳や痰を吐かない
- ・ 飲み物は各自持参、飲み回しやコップの共用はしない
- ・ ロジンは投手一人での使用とし、他投手や野手と共用しない 打者用も同様とする

7 チーム（監督者）の衛生管理および安全管理

☆ チーム健康管理・観察

- ・ 徹底した感染予防対策と健康管理（毎日の検温と記録）
- ・ 体調不良や異変を感じたら、大会に参加させない

☆ チーム共通理解

- ・ 会場への移動は、各自による現地集合、現地解散が望ましい
- ・ いかなる場所においても、ミーティングや打ち合わせをする際は、マスク着用もしくは2 m以上の間隔を確保したうえで行う
- ・ ベンチ内ではマスク着用のうえ、最低1 mの間隔をとる マスク不着用の場合は会話を控える
- ・ チームとして用具の共用は極力行わない
- ・ ただし、共用せざるを得ない用具は、必ず使用前後にアルコール消毒を行う
- ・ 試合中、守備側による打ち合わせは、投手サークルの外側で1 m間隔にて行う
- ・ 試合中、攻撃側によるベンチ前での円陣は禁止とする
- ・ 監督によるタイム・抗議の際は、審判と2 m以上離れて行う

8 試合進行上（審判等）の衛生管理および安全管理

☆ 原則 2020年度オフィシャルソフトボールルールとし、大会ごとの特別ルールを設けることができる

- ・ 球審のマスクはとって試合をしてもよい
- ・ 球審が使うボールケース・刷毛等の用具は事前に消毒しておくこと
- ・ 試合開始前、両チームによる整列・挨拶は自チームベンチ前に1 m間隔にて横一列に

整列し、審判の合図により挨拶を行う

- ・ ファウルボール等で、守備者以外が触れたボールはアウトボールとし、消毒する
- ・ 投手用ロジンは各チーム、各投手が用意したものを使用する（投手間の共用は厳禁）
- ・ 打者のヘルメットやバットは守備側の選手は触れないようにする
- ・ 試合中、守備側による打ち合わせは、投手サークルの外側で1 m間隔にて行う
- ・ 試合中、攻撃側によるベンチ前での円陣は禁止とする
- ・ 監督によるタイム・抗議のときは、審判と2 m以上離れて行う
- ・ 試合終了後の両チームによる挨拶は、開始時と同様に行う
- ・ グランド整備を行うときは、マスクを着用する（役員・選手同様）

本ガイドラインになかったものは、審判委員会のガイドラインにて行うこと

9 大会参加申し込み条件・方法

☆ 参加申し込み条件（監督責任）

- ・ 2020年度東京都ソフトボール協会および（公財）日本ソフトボール協会（原則）に登録された者に限る
- ・ 参加申し込み人数（ベンチ定員）は原則25名までとする
ただし、大会ごとの参加条件もあるので、大会要項により変更になる場合もある
- ・ チーム参加者全員の健康管理と体調の掌握（大会参加14日前より記録）
- ・ 感染予防対策と安全管理対策に対するチーム全体への周知徹底と実行
- ・ チームにおける大会期間中のルール、マナー、エチケットの遵守と徹底
- ・ 怪我防止のための十分な練習期間の確保
- ・ その他詳細については大会実施要項を参照

※ 以上のことを承諾したうえで、監督責任下において参加申し込みをすること

☆ 参加申し込み方法

- ・ 協会ホームページよりダウンロードまたは郵送
 - 1 「大会要項」および「参加申込用紙」
 - 2 「健康チェックシート」（参加者全員）

- ・ 原則、メールまたは郵送での申し込みとする

10 代表者（監督）会議・抽選会・式典

☆ 代理者（監督）会議

- ・ 原則として、行わない
- ・ 連絡および留意事項等は大会要項に記載する

☆ 抽選会

- ・ 原則、抽選は主催・主管の役員による代理抽選とする
- ・ 抽選結果は、協会ホームページに掲載する（後日、郵送にて行う）

☆ 式典

- ・ 開会式は実施しない
- ・ 閉会式は表彰のみ行う チームの該当選手（2～4名程度）役員で
他の監督・選手等はベンチ前で並ぶ（2列横隊など）

11 受付方法

- ・ 受付は各自で行う（参加者全員）
- ・ 受付に並ぶ際、人との距離は1 m以上あけること
- ・ 受付時は必ずマスク着用し、手指消毒を行う
- ・ 受付時に「健康チェックシート」を提出し、検温を行う
大会参加への可否を判断しおこなう

✖ 「健康チェックシート」なし 参加不可

✖ 「健康チェックシート」未記入あり 参加不可

✖ 37.5℃以上ある者 参加不可

- ・ 受付後、入場を許可されたチーム・選手から練習を開始する